

目撃の  
バレンタインデー



mikatuki98

人は望むと望まざるに係わらず、何かを目撃してしまうものだ。

どうしてその日に限って彼女は遅刻をしなかったのだろうか？

遅刻どころか、クラスメートの半数も登校していない時間に教室の後の入り口から音も立てずに入ってしまったのだろうか？

今まさに、クラスメートの男子が机の中から何かを見つけ、瞬間、動揺している姿が目に入った。

『ん？ そっか！ あれはチョコだ！』

今日がバレンタインデーであることに今更ながら気付く。

咄嗟に彼の様子に全く気付いていないフリをしてやる。

それは多分、彼への優しさなどではなく、その後の彼の言動を面白おかしく観察する為に素知らぬフリを続けることが、バレンタインデーには無縁である彼女の唯一の楽しみとなるからだ。

そして半日、喜びを隠しながら友人たちに探りを入れつつニンマリとほくそ笑む彼の顔と、徐々に得たいの知れない自信に満ちていく彼の態度と、仕舞の果てにはチョコをゲット出来たことを遂に友人たちに自慢をしてしまった彼の一部始終を、彼女はニヤリニヤリと目撃しながら愉しんだのだった。了